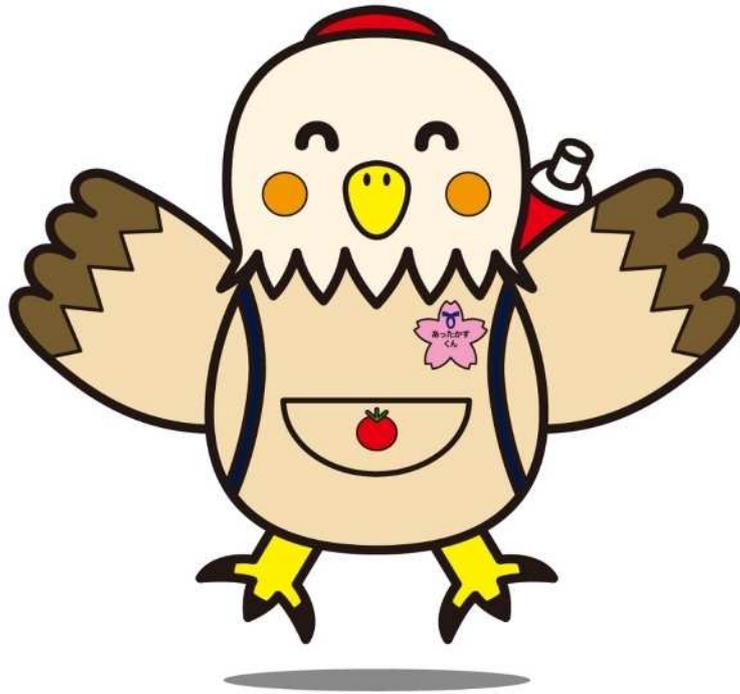


第25回 北海道還暦軟式野球選手権大会



2025年6月7日（土）～9日（月）

鷹栖町民球場・鷹栖町民グラウンド・当麻町営野球場

ぴっぷ球場・あいべつ球場・深川市民球場

- | | |
|-----|--|
| 主 催 | 北海道還暦軟式野球連盟 |
| 主 管 | 第25回北海道還暦軟式野球選手権大会鷹栖実行委員会 |
| 共 催 | 鷹栖町・当麻町・比布町・愛別町・深川市
・鷹栖町教育委員会・当麻町教育委員会・比布町教育委員会
・愛別町教育委員会・深川市教育委員会 |
| 協 力 | 鷹栖町軟式野球連盟・旭川軟式野球連盟・深川市軟式野球連盟 |
| 後 援 | 鷹栖町スポーツ協会・当麻町スポーツ協会・比布町体育協会
愛別町スポーツ協会・深川市スポーツ協会・北海道新聞旭川支社 |

第25回北海道還暦軟式野球選手権大会開催要項

1. 主催 北海道還暦軟式野球連盟
2. 主管 第25回北海道還暦軟式野球選手権大会鷹栖実行委員会
(旭川布袋クラブ・旭川グランパス・深川クラブ)
3. 共催 鷹栖町・当麻町・比布町・愛別町・深川市
・鷹栖町教育委員会・当麻町教育委員会・比布町教育委員会
・愛別町教育委員会・深川市教育委員会
4. 協力 鷹栖町軟式野球連盟・旭川市軟式野球連盟
深川市軟式野球連盟
5. 後援 鷹栖町スポーツ協会・当麻町スポーツ協会・比布町体育協会・
愛別町スポーツ協会・深川市スポーツ協会・北海道新聞旭川支社
6. 期日 2025年6月7日(土)～9日(月) 雨天の場合10日まで
7. 会場 A. 鷹栖町民球場 B. 鷹栖町民グラウンド C. 当麻町営球場
D. ぴっぷ球場 E. あいべつ球場 F. 深川市民球場
8. 出場チーム 北海道還暦軟式野球連盟加盟チーム 40チーム
9. 出場資格
 - ・2025年度北海道還暦軟式野球連盟に加盟登録されたチーム
 - ・昭和41年4月1日以前に生まれた人で組織したチーム
 - ・チーム編成は、監督を含め10人以上30名以内とする。
10. 適用規則 2025年公認軟式野球規則並びに大会特別規則を適用する。
11. 監督会議 大会規則事前周知のため監督会議は行いません。
12. 参加申込 2025年4月14日(月)までに参加登録選手名簿を下記まで
出来る限り電子データで提出し、大会参加料をお振込願います。
※E-mail: kyouiku5@town.takasu.lg.jp 宛に様式請求のメール送信
をお願いします。

(エルジー)

【参加登録選手名簿提出先】

〒071-1292 上川郡鷹栖町南1条3丁目5番1号

鷹栖町教育委員会 体育振興係 宛

FAX (0166) 87-2850 (鷹栖町役場)

名簿の誤り等を防ぐため、データ提出できない場合のみ FAX 送信
してください。

13. 大会参加料 1チーム35,000円を下記口座にお振り込みください。
(振込手数料は貴チームにてご負担ください。)

金融機関名	たいせつ農業協同組合
店名	鷹栖支所
預金種目	普通預金
口座番号	0030798
口座名義	北海道還暦軟式野球選手権大会鷹栖実行委員会

14. 組合せ抽選 2025年3月21日(金) 第26回通常総会時に行います。

15. 閉会式 2025年6月9日決勝戦終了後に鷹栖町民球場で行います。

16. 表彰 優勝～優勝旗・優勝杯・賞状
準優勝～準優勝杯・賞状 三位～賞状

17. 参加経費 本大会に参加するための旅費・宿泊費等は全て各チームの負担とする。

18. 宿泊等斡旋 本大会では、宿泊等の斡旋はございません。
大会中における宿泊・弁当については各チームでお願いいたします。

19. その他 各会場ともにゴミは持ち帰りください。
ご不明な点について、下記までお問い合わせください。
但し、大会運営に関する事項は北海道還暦軟式野球連盟にお問い合わせください。

●第25回北海道還暦軟式野球選手権大会 LINE オープンチャットを作成しました●



大会の情報や、大会中の各会場での結果などを配信します。
LINEアプリの友達追加からQRコードを読み取り、追加してください。

～～～大会事務局～～～

〒071-1292

上川郡鷹栖町南1条3丁目5番1号 鷹栖町役場内

鷹栖町教育委員会 体育振興係 担当 山岸・合佐昆

TEL(0166)87-2028 / FAX(0166)87-2850

E-mail:kyouiku5@town.takasu.lg.jp

(エルジー)

大 会 規 則

- 1 試合は7回戦とする。勝敗が決しない場合は、次の方法で特別延長戦を行う。
 - (1)特別延長戦は一死満塁で継続打順として、前のイニングの最終打者を一塁走者とし、二塁、三塁の走者は順次前に打者とする。最高2イニングまで行う。
 - (2)同点の場合は抽選により決する（抽選は○×方式で○が勝ち）。ただし、決勝に限り延長12イニングまでとし、なおも同点の場合は抽選により決する。
- 2 5回以降、得点差7点以上となった場合はコールドゲームを適用する。ただし決勝戦は除く。
- 3 塁間距離は25m、投手板と本塁間は16.3mとする。
- 4 参加申し込み後の選手や背番号の変更並びに追加登録は認めない。
- 5 大会使用球は全日本軟式野球連盟公認球M号とする。
- 6 ユニフォームは同色・同型・同意匠のもの（アンダーシャツ、ストッキング、スパイクを含む）とし、企業名の入っているものは禁止する。
- 7 不正出場等の規則違反に対しては、全日本還暦軟式野球連盟の定める規則により処理する。
- 8 途中棄権してはならない。もしその事実があった場合は、その事由の如何によっては、当該チームへのペナルティ対象となる。
- 9 大会期間中の選手の傷病についての本部の対応は応急処置までとし、それ以降は当該チームの責任において処理する。
- 10 試合開始予定時刻の30分前に連絡も無く集合しない場合は、棄権とみなす。
- 11 各チームは第1試合において試合開始予定時刻の30分前に、その他のチームあつては、前試合の4回終了時にメンバー表5部を本部に提出、審判員立合いのもと攻守を決定する。
- 12 ダッグアウトは、組み合わせの若い方を一塁側とする。ファールボール、ボールデッドのボールは、各チームが協力して処理する。各試合終了後、試合終了の両チームからグラウンド整備要員として5名の応援をお願いする。
- 13 ダッグアウトに入る者は、ユニフォームを着用した監督選手その他、代表者、マネージャー、記録員各1名とする。ただし、スカート・短パンでの入場を禁止する。
- 14 次試合の先発バッテリーは、5回以降当該チームの了解を得て、球場内の所定の場所で練習を認める。
- 15 試合中の異議申し立ては、監督・主将・当該プレーヤーに限る。
- 16 監督不在の場合は事前に本部へ連絡して代理監督を申し出ておくこと。
- 17 日没・降雨その他の理由により、審判が試合続行不可能と認めたときで、5回表裏をまだしていないとき、若しくは完了しても同点の場合は、翌日の第1試合に先立って特別継続試合を行う。この場合、打順及び守備については中断時と同一の状態を開始する。
- 18 雨天時の試合開催の決定は午前6時とし、中止の場合は大会本部から各チームの連絡責任者へ連絡する。
- 19 金属バットは、連盟公認（JSBB）のものを使用する。
- 20 試合中に雷が発生した場合には、状況を判断し試合を中断して全員を安全な場所に避難させ、气象台等の状況を掌握し、その後処理を行う。
- 21 金属付スパイク（セラミックも含む）及びアップシューズ等運動靴でのプレーは禁止する。
- 22 背番号は監督30番、主将10番とし、その他は制限しない。ただし、00番及び3桁番号は認めない。

- 23 打者、走者及びベースコーチは、必ずヘルメットを着用すること。捕手は、ヘルメット、マスク、プロテクター、レガース、ファウルカップを必ず着用すること。
- 25 イニング交替時の投手のピッチング練習時、補球者（代行者）は必ずヘルメットとマスクを着用すること。なお、ヘルメットとマスクを着用しない場合は立ったままキャッチボール形式で行うこと。
- 26 ホームベース上での捕手への走者のむやみな体当たりの禁止及び捕手はボールが来る前でのホームベースをブロックすることを禁止する。
- 27 サングラスの着用は大会本部の承認なしに使用できる。ただし、ミラーレンズの使用は禁止とする。攻守交代時に、最後のボール保持者は、投手板付近にボールを置いてベンチに戻ること。

大会特別ルール

- 1 DH制を採用する。
- 2 打順は、1番から10番とし、この内1名をDHとする。
- 3 DHに対して代打、代走を送ることができる。ただし、代打、代走は試合が終わるまでDHとなり、野手として守備につくことはできない。
- 4 最初にDHとなった選手は、相手投手が交代しない限り、1度は打席に立たなければならない。
- 5 DHで出場選手が交代したときは、再度出場することはできない。
- 6 DHが怪我等で攻撃できなくなり、代替りの選手がいない場合、その時点でDHは終わりとする。この場合、1アウトとして打順は繰り上がり試合を続行する。
- 7 DHの採用は、チームに一任する。

審判及び運営上の注意事項

- 1 投手（救援投手を含む）準備投球は初回に限り、7球以内（1分を制限）が許される。次回からは、3球以内とする。なお、季節または状況により考慮する。
- 2 攻守交代は駆け足でスピーディーに行うこと。ただし、投手に限り内野敷地内は歩いても差支えない。
- 3 投手が捕手のサインを見るときは、必ず投手板について見ることを厳重に実施すること。
- 4 次打者は、ネクストバッターズサークルでのスイングを禁止とする。
- 5 打者はみだりにバッターズ・ボックスを離れてはいけない。
- 6 内野手間の転送球は1回のみとする（状況によっては中止することもある）。最後にボールを受けた野手は、定位置から速やかに投手に返球すること。
- 7 タイムは次のとおり制限する。
 - (1) 試合中、スパイクの紐を意図的に結び直すなどのタイムは認めない。
 - (2) タイムは1分間を限度とする。ただし、審判が認めた場合はこの限りではない。
- 8 守備側のタイム要求で試合が中断されたときは、その間投手は捕手を相手に投球練習をしてはならない。
- 9 本塁打の打者を迎える場合は、ベンチ前のみとする。